

北丹沢方面の自然公園情報

日付：令和8年3月6日（金）

コース：神ノ川園地—熊笹ノ峰

天気：曇り

温度：9℃（13時頃、熊笹ノ峰周辺）

- 神ノ川園地には登山口近くに公衆トイレがあります。登山中には一部の山頂を除きほとんどトイレはありませんので、出発前に準備を済ませておきましょう。また、山頂のトイレは菌の分解を利用したトイレとなっています。トイレットペーパーなどのゴミを入れるとこの菌の働きが低下してしまうため、持ち帰りをお願いします。



神ノ川園地の公衆トイレ



- 林道の交点からはチラホラと雪が溶け残っていて、ヤタ尾根の上部では多いところで15センチ以上の雪が積もっていました。途中からどこが登山道かわからない状態もあるため、時々周囲や地図を確認してこまめに自分の位置を把握することに努めましょう。また、登山口付近に雪はなくても標高が高くなると雪が溶け残っていることがあります。チェーンスパイクなどの滑り止め対策も準備するように心がけてください。



標高約 900 メートルの雪の様子



標高約 1000 メートル

●真っ白な雪の上にも色々な発見があります。上から落ちてきた植物の葉や木の実が雪にピツタリ収まっている様子は専用に作られた標本箱のようでした。



ニホンジカの足跡



ヤシャブシの果穂（かすい）



ブナの落ち葉



ブナの堅斗（かくと）

●スズタケの茎は直立する性質のため、雪がある程度積もっても葉は雪の上に出ています。雪の中でも見つけやすいため、シカなどの冬の貴重な食糧となっています。植生保護柵の内と外を比べると葉の量や茎の高さなどが違うことがよくわかります。



雪の上に茎を出しているスズタケ



植生保護柵の内外の様子